

糸魚川市の観光の状況について (平成 27 年度版)



糸魚川市交流観光課

目次

◆ 調査概要

- 1 調査の期間 1
- 2 調査方法 1
- 3 調査地点 1

I 平成 27 年度の糸魚川市の観光の現状

- 1 平成 27 年度の観光客の入込状況(概況) 2
- 2 平成 27 年度の月別・目的別観光入込客数 2
 - (1) 月別観光入込客数
 - (2) 目的別観光入込客数
- 3 平成 27 年度の目的別観光入込客数の前年度比較 4
 - (1) 温泉施設
 - (2) 自然景観
 - (3) 名所・旧跡
 - (4) 文化施設
 - (5) 産業観光
 - (6) 祭・イベント
 - (7) 海水浴
 - (8) スキー場
 - (9) 登山・ハイキング・キャンプ場
 - (10) その他(ゴルフ場・釣り・プール等)

II 平成 27 年度の宿泊者の入込状況

- 1 平成 27 年度の宿泊者の入込状況(概況) 9
- 2 平成 27 年度の月別・割合別宿泊者数 9
 - (1) 月別宿泊者数の前年度比較
 - (2) 県内・県外から来訪した宿泊者数の割合
- 3 平成 27 年度の県内・県外宿泊者数の前年度比較 10
 - (1) 県内来訪の宿泊者数の前年度比較
 - (2) 県外来訪の宿泊者数の前年度比較

III 過去の入込客統計調査との比較

- 1 観光入込客数の推移 11
- 2 目的別観光入込客数の推移と県入込客数との比較 12
 - (1) 温泉施設
 - (2) 自然景観
 - (3) 文化施設
 - (4) 産業観光
 - (5) 祭・イベント
 - (6) 海水浴
 - (7) スキー場

IV 経済効果

- 1 平成 27 年度の観光における経済効果 16
- 2 過去の観光における経済効果 16

◆ 調査概要

本調査は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」（平成 21 年 12 月観光庁策定）に準拠し、観光入込客数などを推計等したものである。

1 調査の期間

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

※ 比較のため平成 26 年度の観光入込統計結果を引用した。

2 調査方法

(1) 観光入込客統計調査

四半期ごとに、市内の観光地点の管理者、祭行事・イベントの主催者等に対して入込客数を調査し、集計した。

(2) 宿泊客数調査

1 年ごとに、市内の宿泊施設に対して県内から来訪者した宿泊者と県外から来訪した宿泊者を分けて宿泊客数を調査し、集計した。

(3) 海水浴客入込客数調査

海水浴場開設期間中に 10 日ごとに入込客数を調査し、集計した。

3 調査地点

観光入込客調査地点は以下の 117 箇所である。

対象	主な施設名称	対象箇所
温泉	柵口温泉、姫川温泉等	14
自然景観	高浪の池、親不知等	9
名所・旧跡	翡翠園・玉翠園・谷村美術館、相馬御風宅等	6
文化施設	ジオパル、フォッサマグナミュージアム等	10
産業施設	マリンドリーム能生、ヒスイ王国館等	7
祭・イベント	おまんた祭り、新幹線開業イベント等	43
海水浴	能生海水浴場、糸魚川海水浴場、親不知海水浴場等	6
スキー場	シーサイドバレースキー場、シャルマン火打スキー場	2
登山・ハイキング・キャンプ場	雨飾山登山、荒崎キャンプ場等	13
その他	糸魚川カントリークラブ、溪流釣り等	7

I 平成 27 年度の糸魚川市の観光の現状

1 平成 27 年度の観光客の入込状況(概況)

- 平成 27 年度は、北陸新幹線糸魚川駅の開業と、開業イベントの開催により、前年比で 126.8%となった。

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日

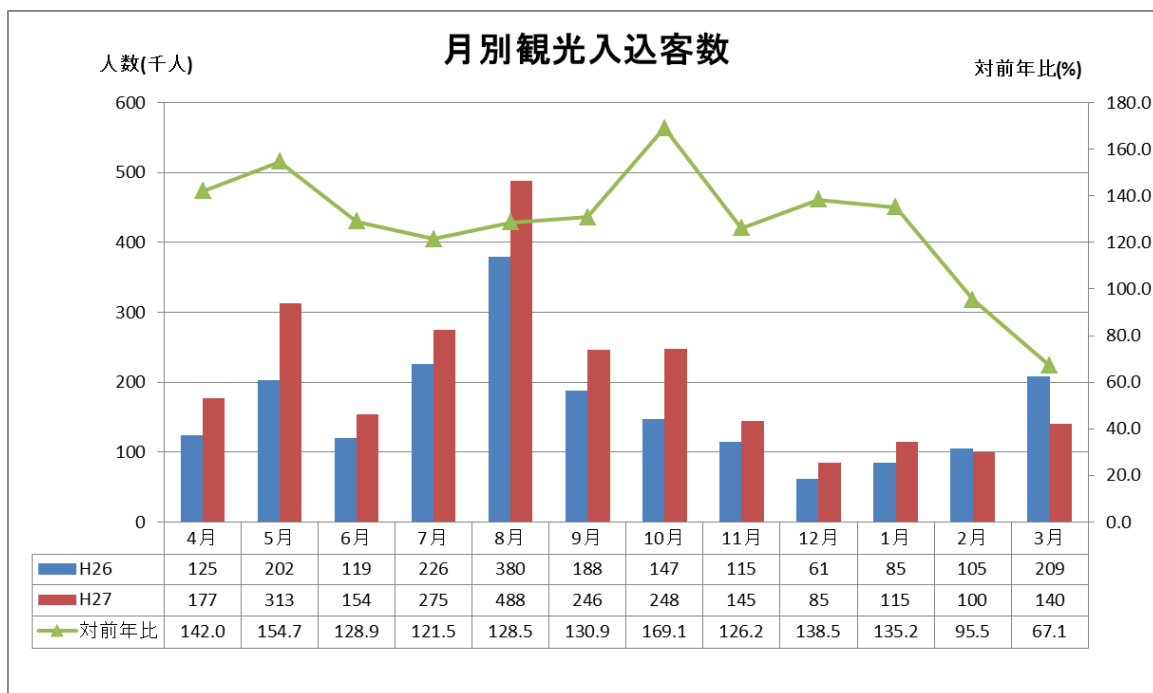
総数 2,487,100 人 (対前年比 126.8%、525,170 人増)

※ 平成 26 年度総数 1,961,930 人

2 平成 27 年度の月別・目的別観光入込客数

(1) 月別観光入込客数

- 全体として前年を上回る月が多い。
- 前年同様、8 月が月別で最大の入込客数を記録している。
- 5 月 (154%) の食の嵐 in 糸魚川、10 月 (169%) の国際ご当地グルメグランプリ 2015 in 糸魚川の開催により、前年比で特に増加している。



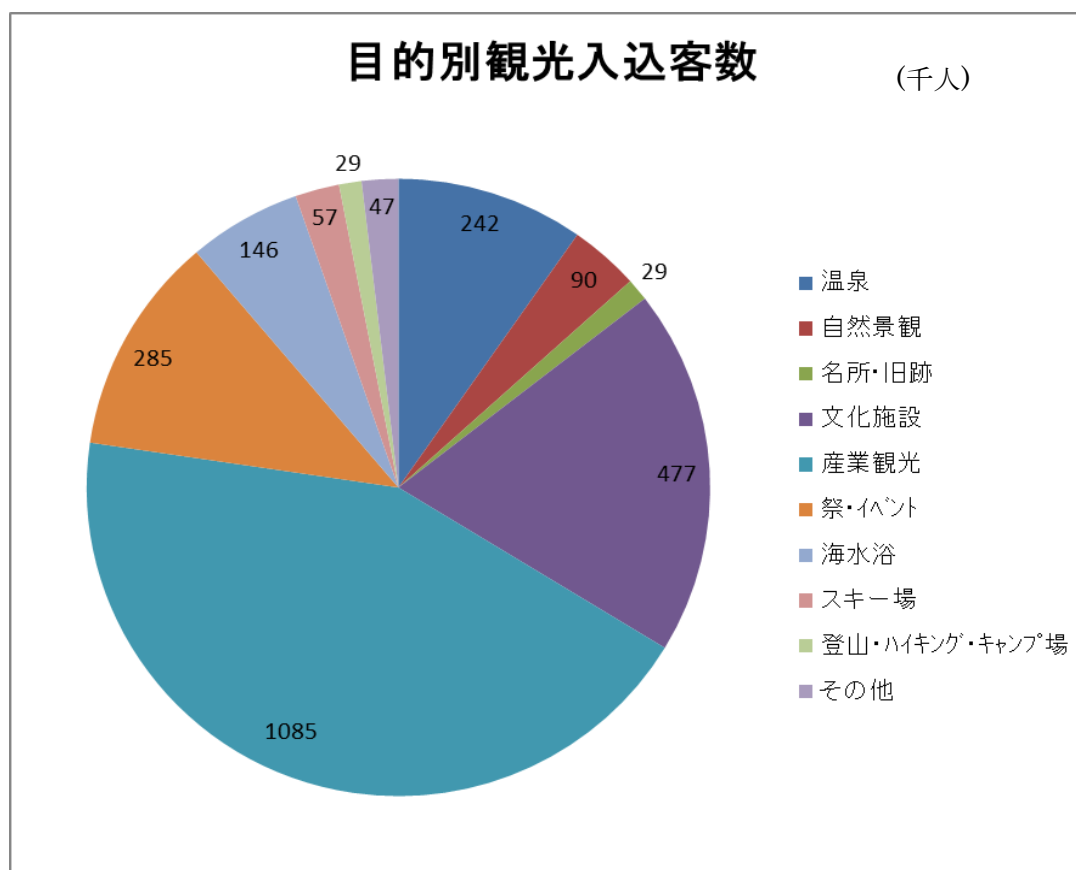
(2) 目的別観光入込客数

- 前年同様、ジオステーションジオパルの開業やフォッサマグナミュージアムのリニューアルオープンに伴い文化施設が大きく入込を伸ばした。

(千人)

	H27	H26	前年差	対前年比	構成比	地点数
温泉	242	229	13	105.8%	9.7%	14
自然景観	90	86	4	104.1%	1.9%	9
名所・旧跡	29	25	4	115.8%	0.6%	6
文化施設	477	182	295	262.4%	10.3%	10
産業観光	1,085	994	91	109.1%	26.2%	7
祭・イベント	285	207	78	137.4%	9.3%	43
海水浴	146	107	39	135.9%	5.3%	6
スキー場	57	61	-4	92.7%	2.2%	2
登山・ハイキング・キャンプ場	29	28	1	102.9%	1.1%	13
その他	47	41	6	114.2%	1.9%	7
合計	2,487	1,962	525	126.8%	100.0%	117

※四捨五入したため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合があります。



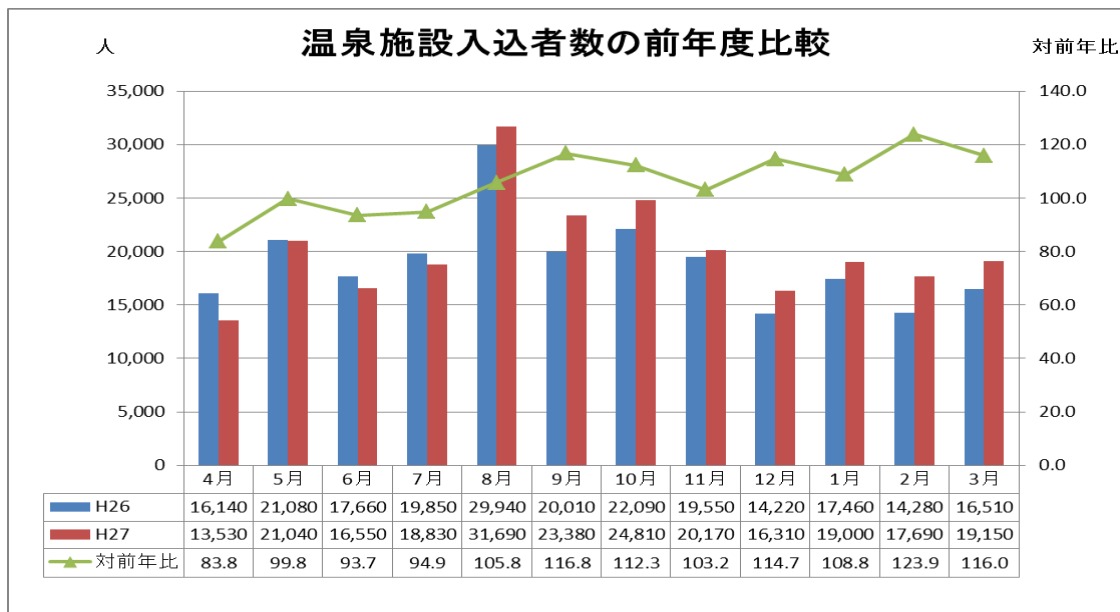
3 平成 27 年度の目的別観光入込客数の前年度比較

(1) 温泉施設

◇ 平成 27 年度 242,150 人（平成 26 年度 228,790 人）前年比 105.8%

○ 前年同様 8 月の入込客数が年間を通じて最も多く、前年比 105.8%と増加した。

○ 8 月以降の月は、前年を上回る入込客数があった。

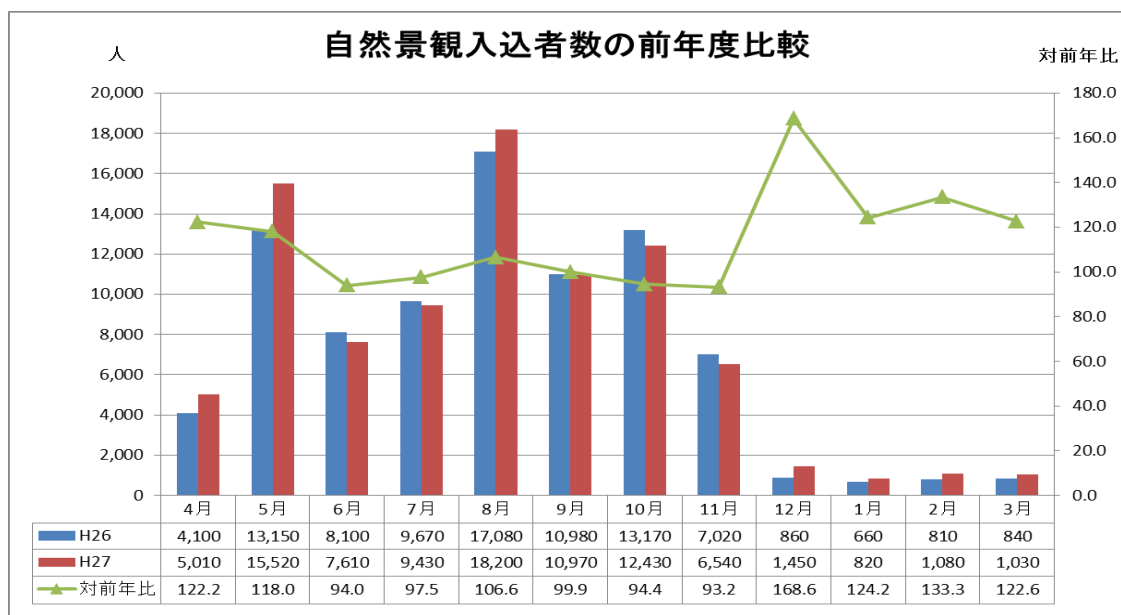


(2) 自然景観

◇ 平成 27 年度 90,090 人（平成 26 年度 86,440 人）前年比 117.5%

○ 例年 5 月と 8 月の入込客数が多く、平成 27 年度も前年比で増加した。

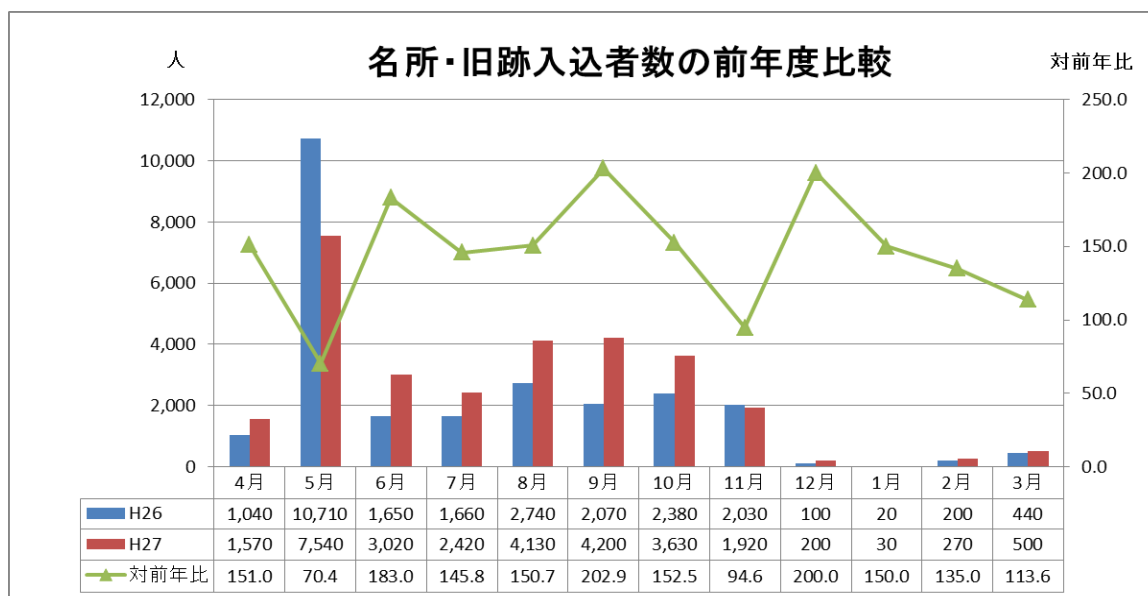
○ 12 月は少雪の影響もあり、前年比で 168.6%となった。



(3) 名所・旧跡

◇ 平成 27 年度 29,430 人（平成 26 年度 25,040 人）前年比 105.3%

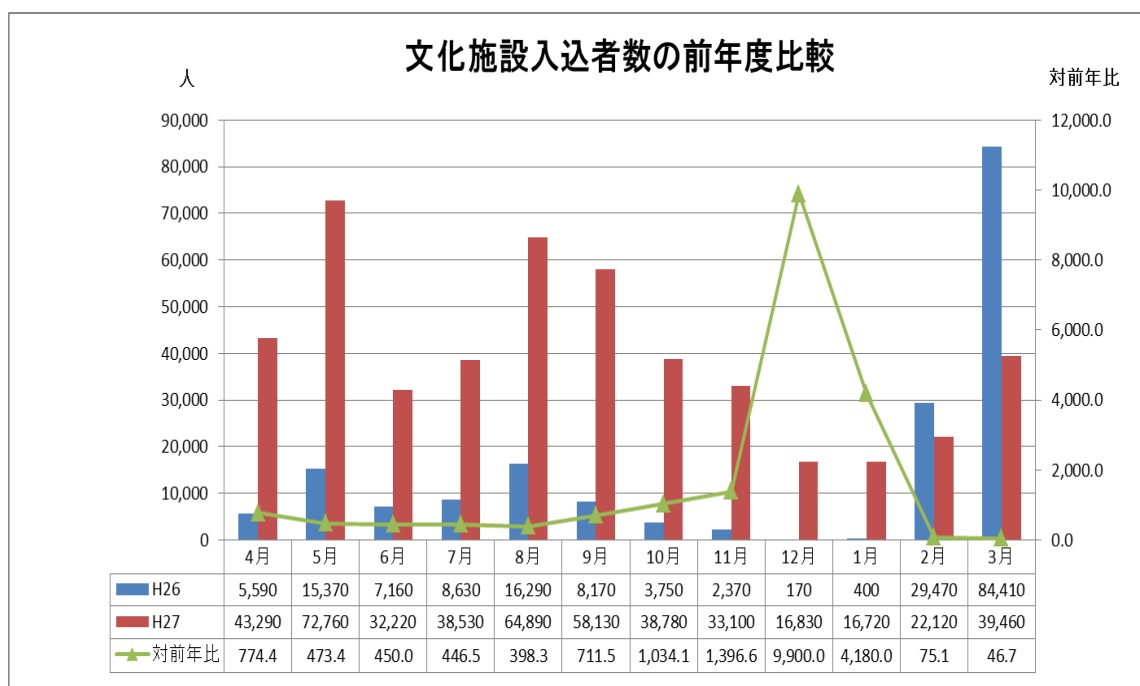
- 5 月に花見客が多数訪れるため、入込客数が突出して多いが、平成 27 年度は前年比で減少した。
- 平成 27 年度は、全体として前年を上回る月が多くなった。



(4) 文化施設

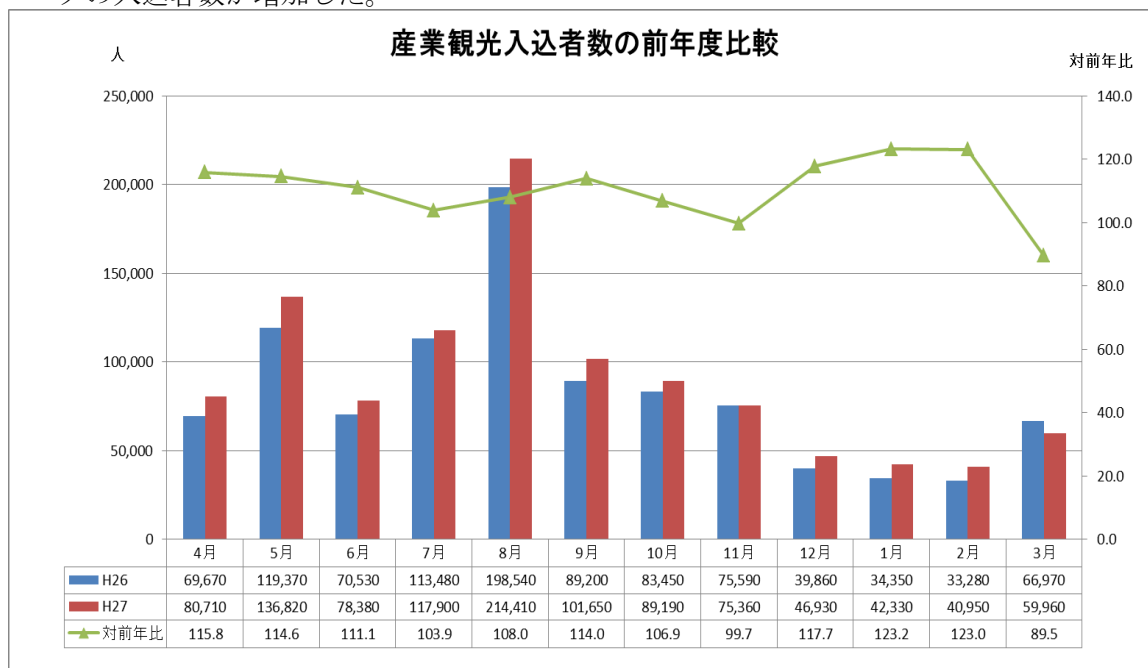
◇ 平成 27 年 476,830 度人（平成 26 年度 181,780 人）前年比 262.3%

- 全体として前年を上回る入込の月が多い。平成 27 年 2 月・3 月はジオパルの開業等により入込客数が増加した結果、前年度より下回った。



◇ 平成27年度 1,084,590人（平成26年度 994,290人）前年比 109.1%

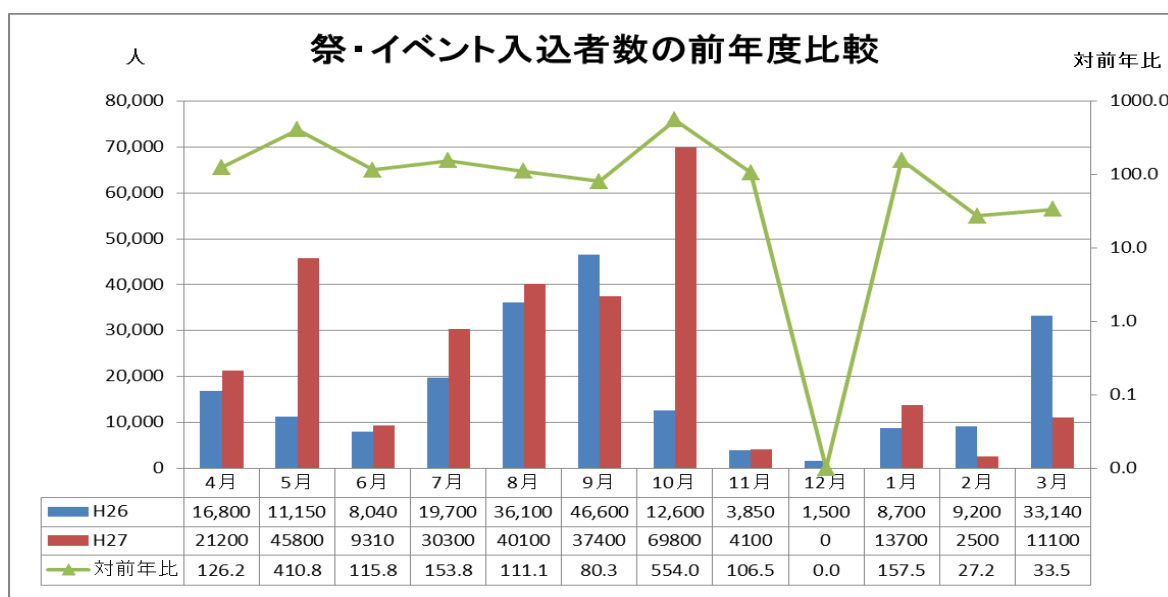
- 前年を上回る入込の月が多いが、11月・3月は前年より下回った。
- 1月・2月は前年比 123%となった。1月・2月は荒波あんこう祭り（能生・青海）があり、天候にも恵まれたことにより、会場となったマリンドリーム能生と親不知ピアパークの入込客数が増加した。



(6) 祭・イベント

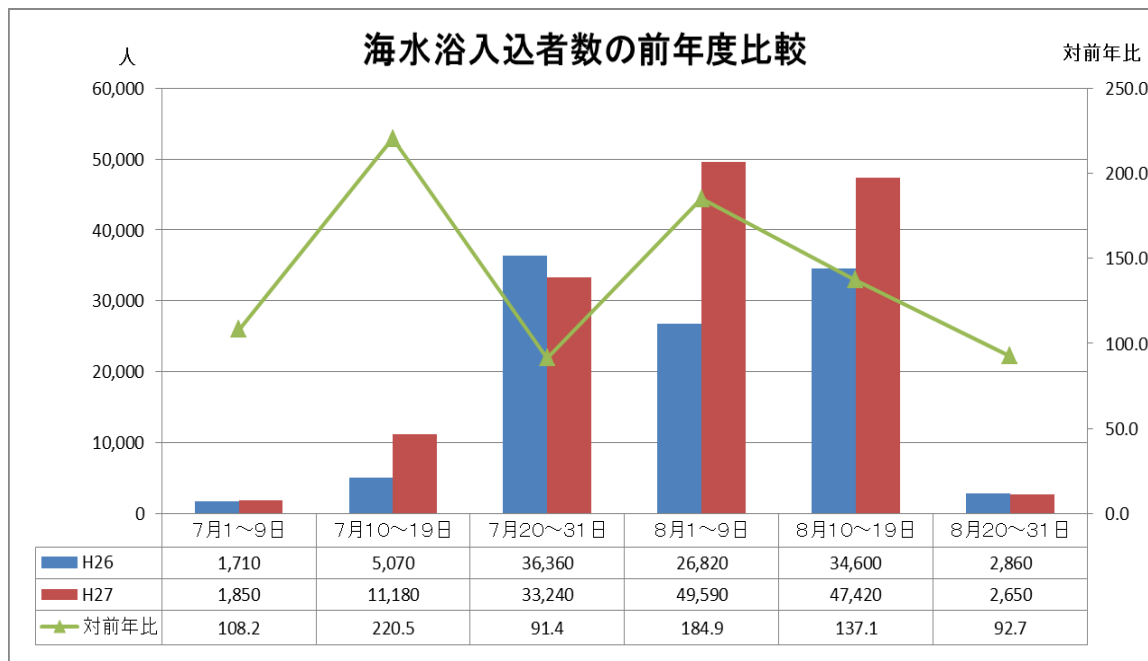
◇ 平成27年度 285,310人（平成26年度 207,380人）前年比 137.6%

- 9月・12月・2月・3月はイベント減少により入込数が減少した。
- 5月は食の嵐 in 糸魚川、10月は国際ご当地グルメグランプリ 2015 in 糸魚川の開催で、前年度より突出して多い。



◇ 平成 27 年度 145,930 人 (平成 26 年度 107,420 人) 前年比 135.8%

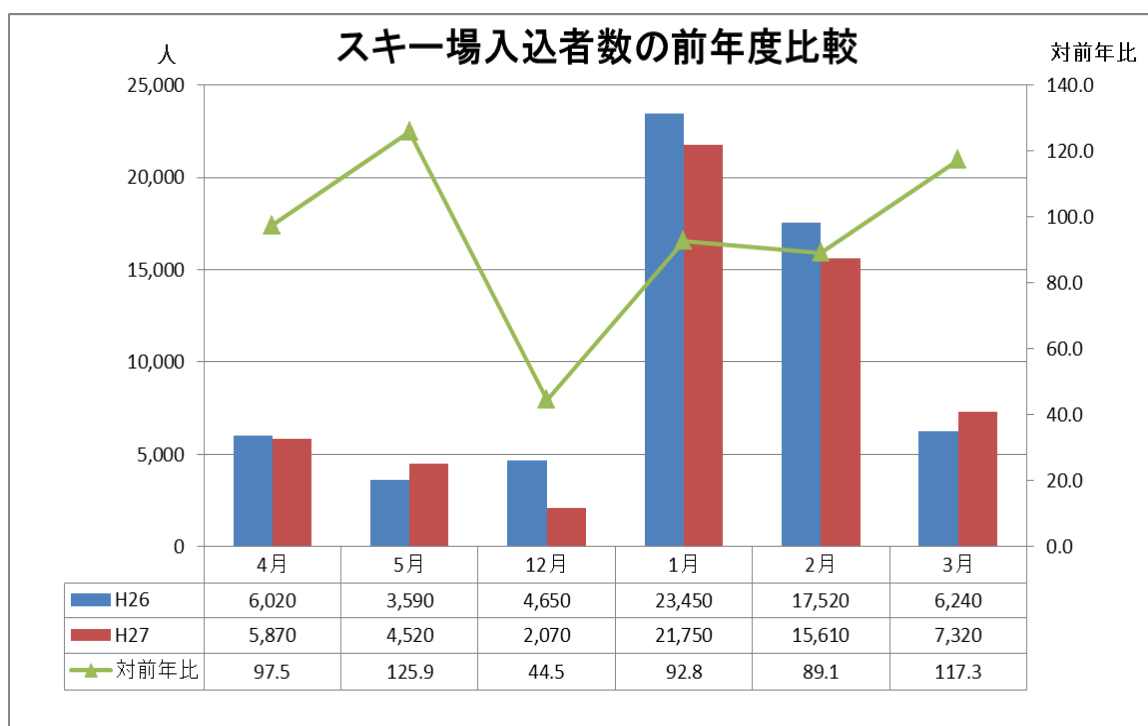
○ 平成 27 年度は前年度と比べると、シーズン当初から天候に恵まれた日が多く、特に 8 月上旬は気温が高い日が続き、8 月 1 日から 9 日にかけては、前年比 184.9%となった。



(8) スキー場

◇ 平成 27 年度 57,140 人 (平成 26 年度 61,470 人) 前年比 93.0%

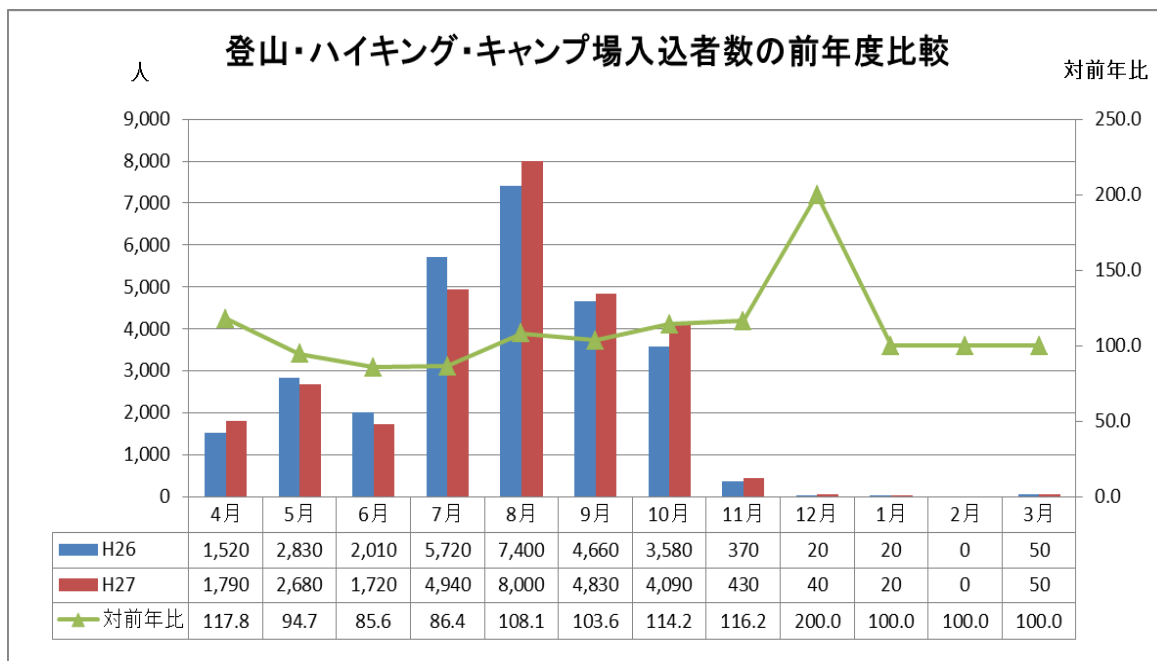
○ 12 月は少雪により営業ができないなど、営業日数が少なかったことが影響し、前年比 44.5%となった。



◇ 平成 27 年度 28,590 人（平成 26 年度 28,180 人）前年比 101.5%

○ 例年、夏季の入込者数が多く、8月の入込者数は前年を上回った。

○ 全体としてはほぼ前年より微増となった。

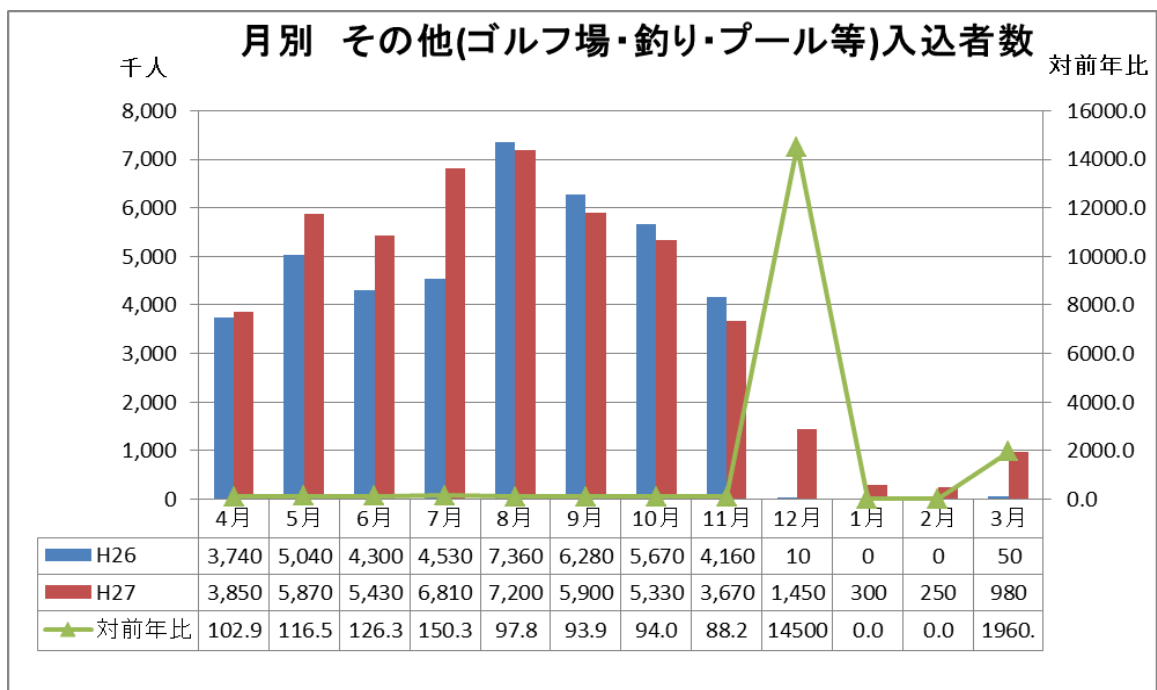


(10) その他(ゴルフ場・釣り・プール等)

◇ 平成 27 年度 47,040 人（平成 26 年度 41,140 人）前年比 114.3%

○ 少雪により、冬期間も営業ができる屋外施設の入込客数が増加した。

○ 8月から11月は入込が減少したが、全体では前年比 114.3%の入込となった。



Ⅱ 平成 27 年度の宿泊者の入込状況

1 平成 27 年度の宿泊者の入込状況(概況)

- 例年 20 万人弱の宿泊があり、県外客がおよそ 67%を占める。
- 平成 27 年度は前年比 102%となった。

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日

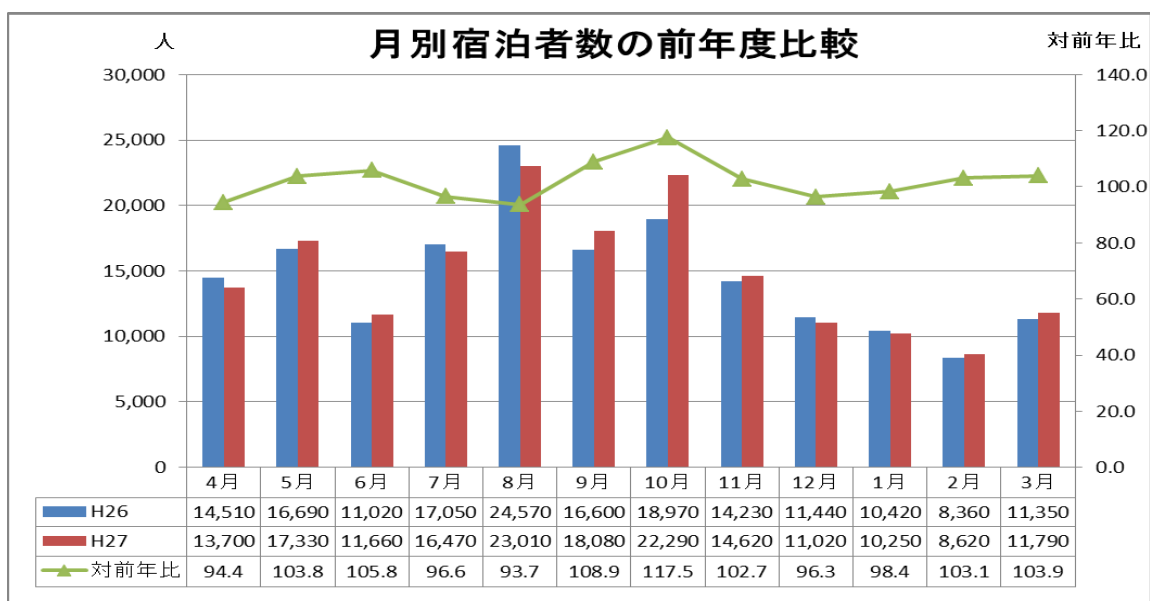
総数 178,840 人 (対前年比 102%、3,630 人増)

※ 平成 26 年度総数 175, 210 人

2 平成 27 年度の月別・割合別宿泊者数

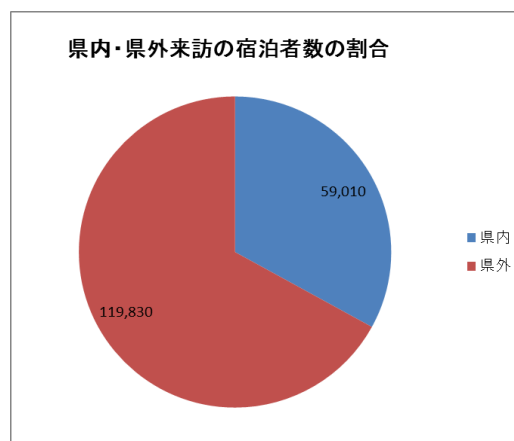
(1) 月別宿泊者数の前年度比較

- 全体として前年とほぼ同数となった。
- 9 月末、糸魚川駅前に新たな宿泊施設が開業したことで、10 月には前年比 117.5%となった。



(2) 県内・県外来訪の宿泊者数の割合

- 県外から来訪した宿泊者が、全体の 67.0%を占める。

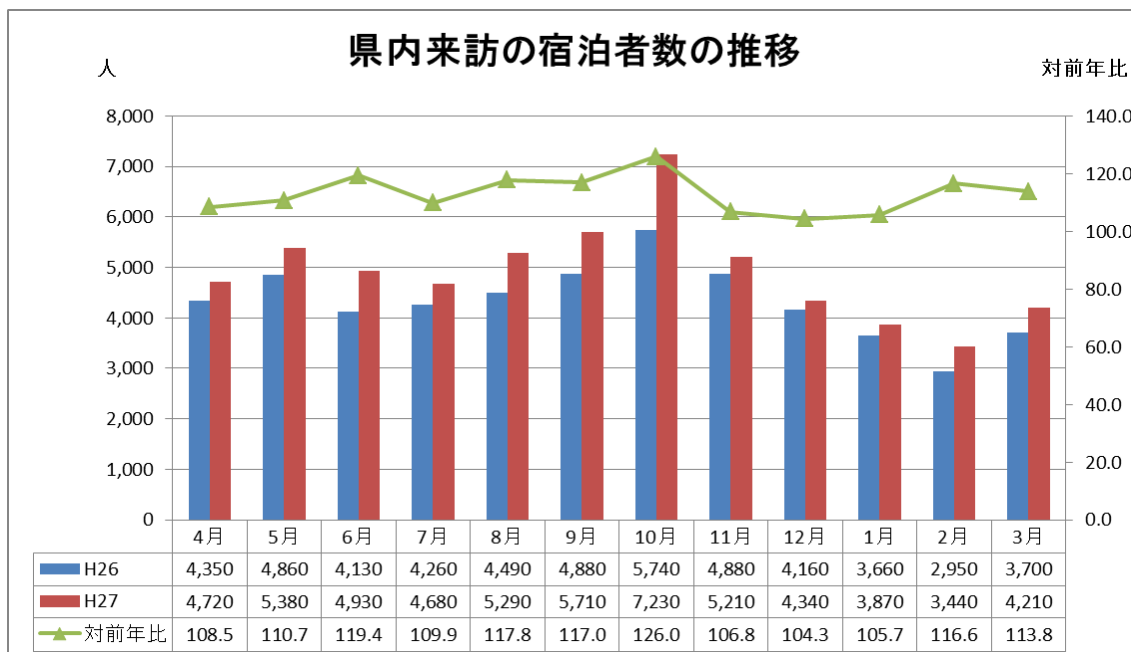


3 平成 27 年度の県内・県外宿泊者数の前年度比較

(1) 県内来訪の宿泊者数の前年度比較

◇ 平成 27 年度 59,010 人（平成 26 年度 52,060 人）前年比 113.3%

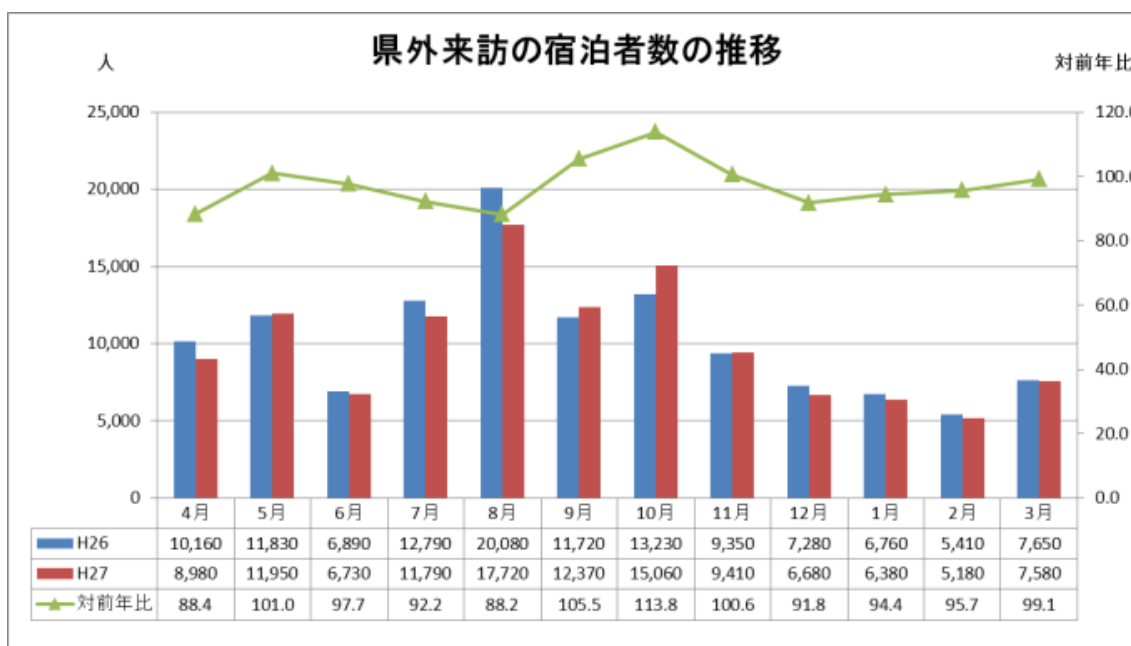
○ すべての月において、前年を上回った。



(2) 県外来訪の宿泊者数の前年度比較

◇ 平成 27 年度 119,830 人（平成 26 年度 123,150 人）前年比 97.3%

○ ほぼ前年並みだが、4月、8月は前年比 88%となった。

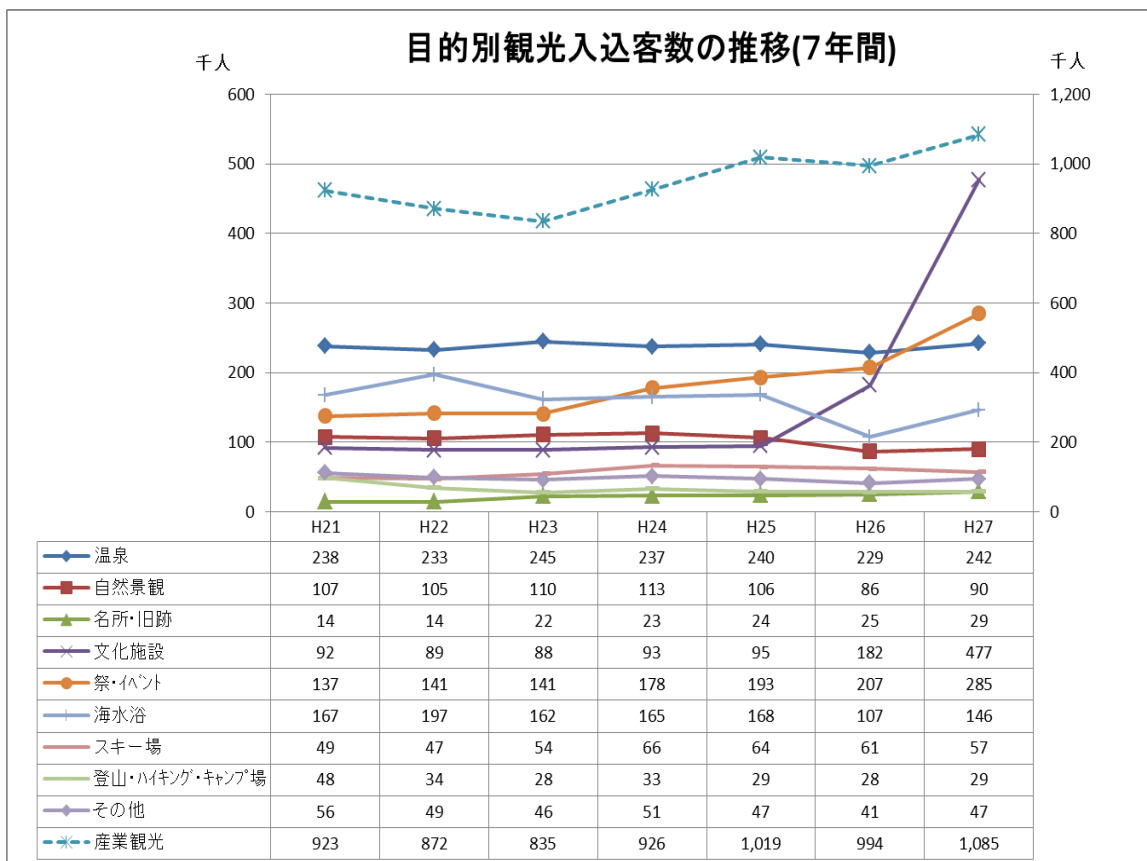
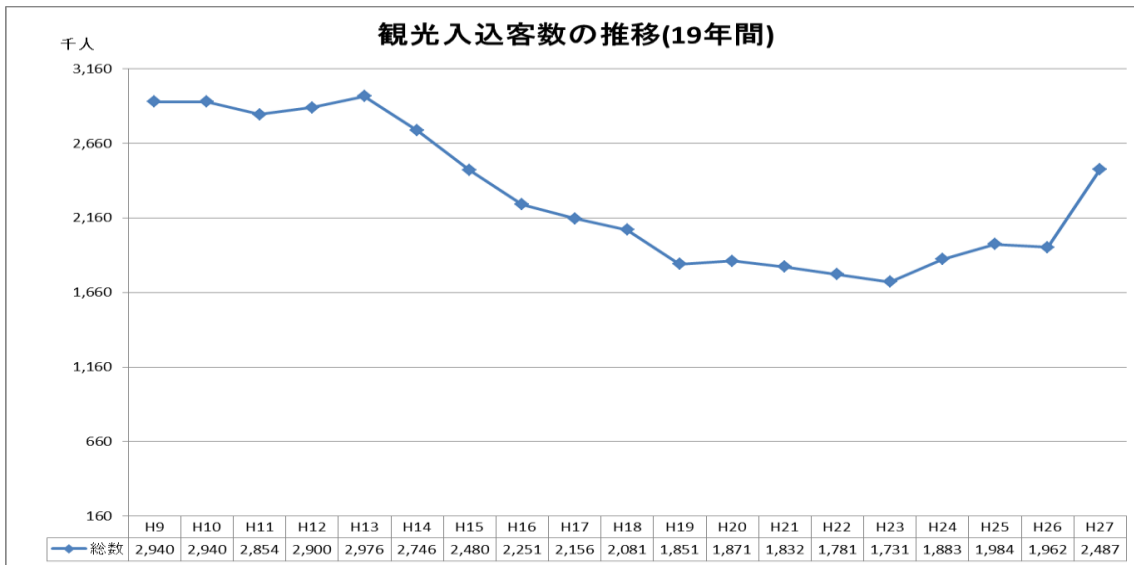


Ⅲ 過去の入込客統計調査との比較

過去の観光入込統計調査の結果を引用し、入込み客数推移を比較した。

1 観光入込客数の推移

- 平成 13 年度の 297 万人から減少していたが平成 24 年度から回復基調にある。
- 平成 27 年度はジオパルやフォッサマグナミュージアム等の文化施設の入込客数が伸び、前年比で 126.8%となった。

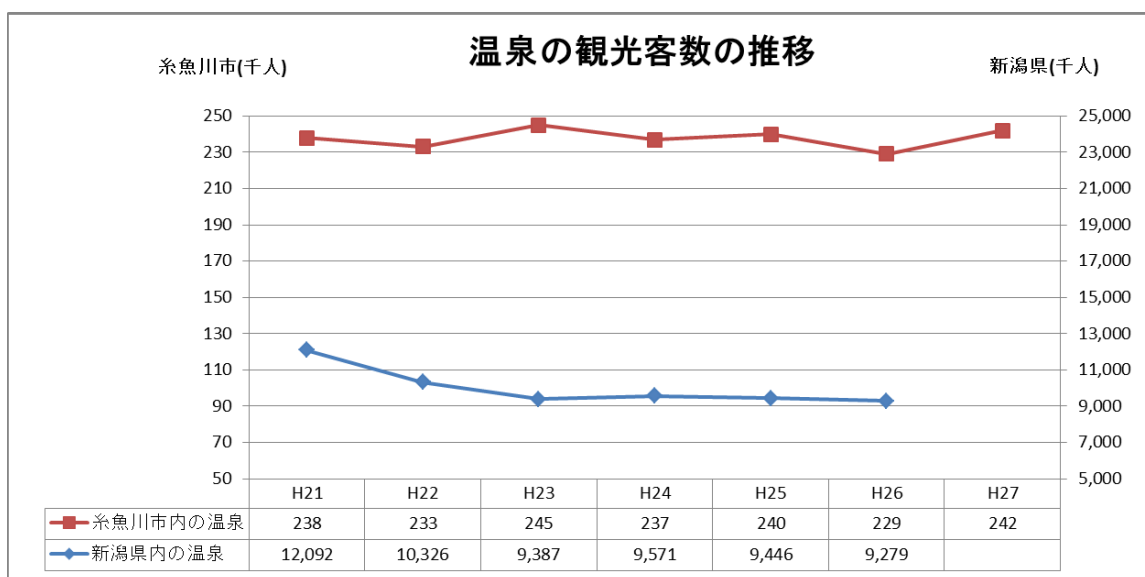


2 目的別観光入込客数の推移と県入込客数との比較

目的別に観光入込客数を集計した。なお、参考のために新潟県の目的別入込客数の推移を公表されている数字をもとに図表に加えた。新潟県の入込統計推移と同様の傾向を示すものについては、新潟県全体に影響となる要因があると考えられる。

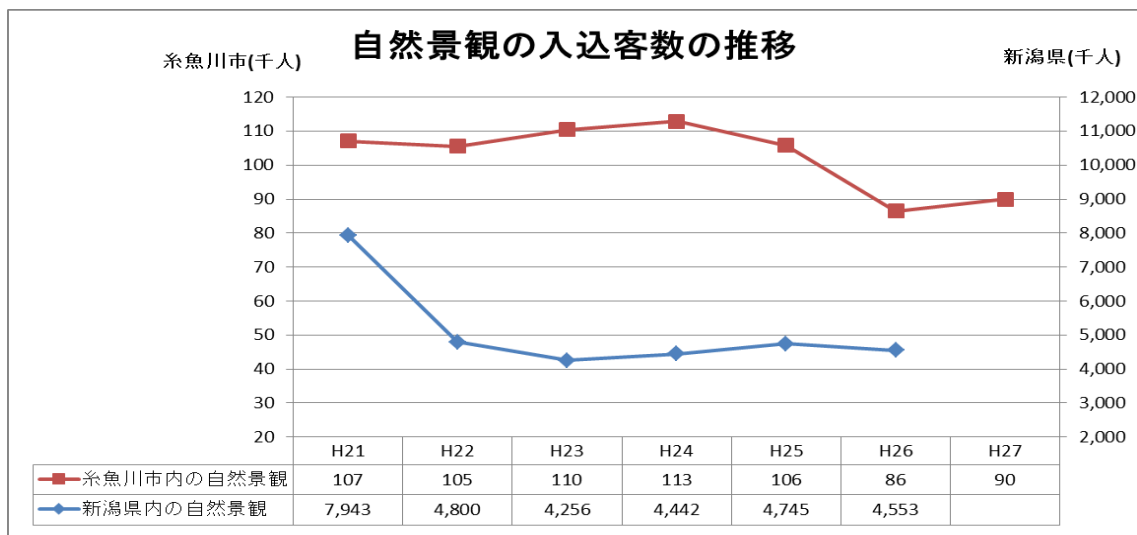
(1) 温泉施設

- 新潟県内の温泉施設の入込客数は、120 万人から減少傾向が続いており、糸魚川市内の温泉施設の入込客数は、24 万人から 23 万人の間で増減を繰り返している。
- 平成 27 年度は 4 月から 7 月は前年度を下回ったが、8 月以降は上回り前年比 105.8% となった。



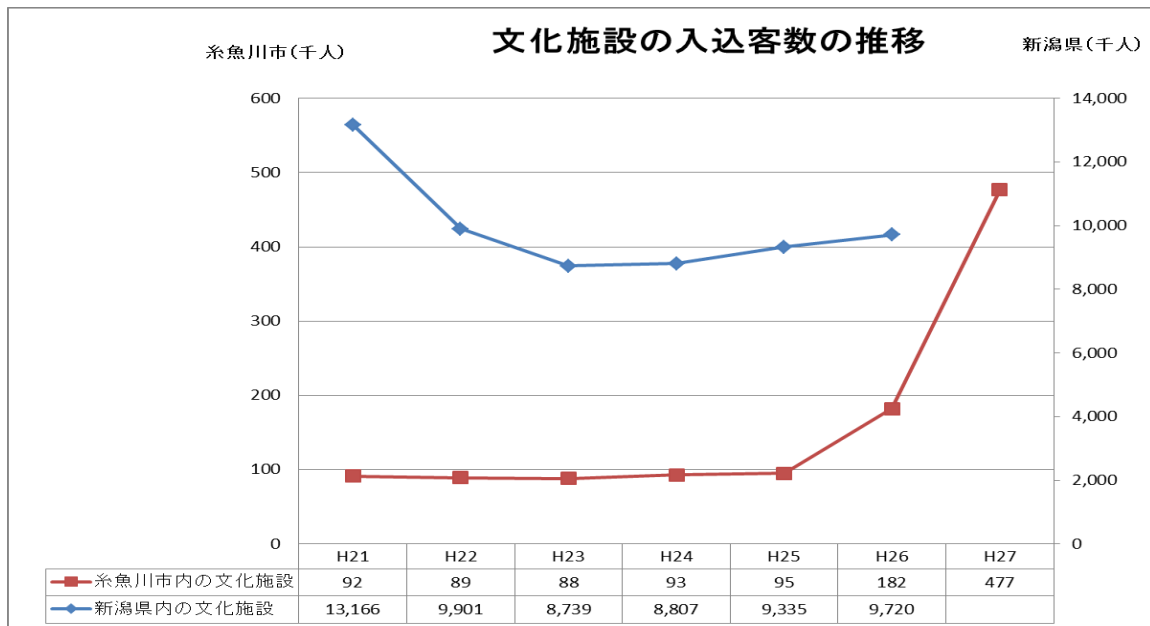
(2) 自然景観

- 新潟県内、糸魚川市内の自然景観の入込客数はどちらも減少傾向にある。
- 平成 27 年度は少雪の影響もあり、糸魚川市内は前年比 104.2% となった。



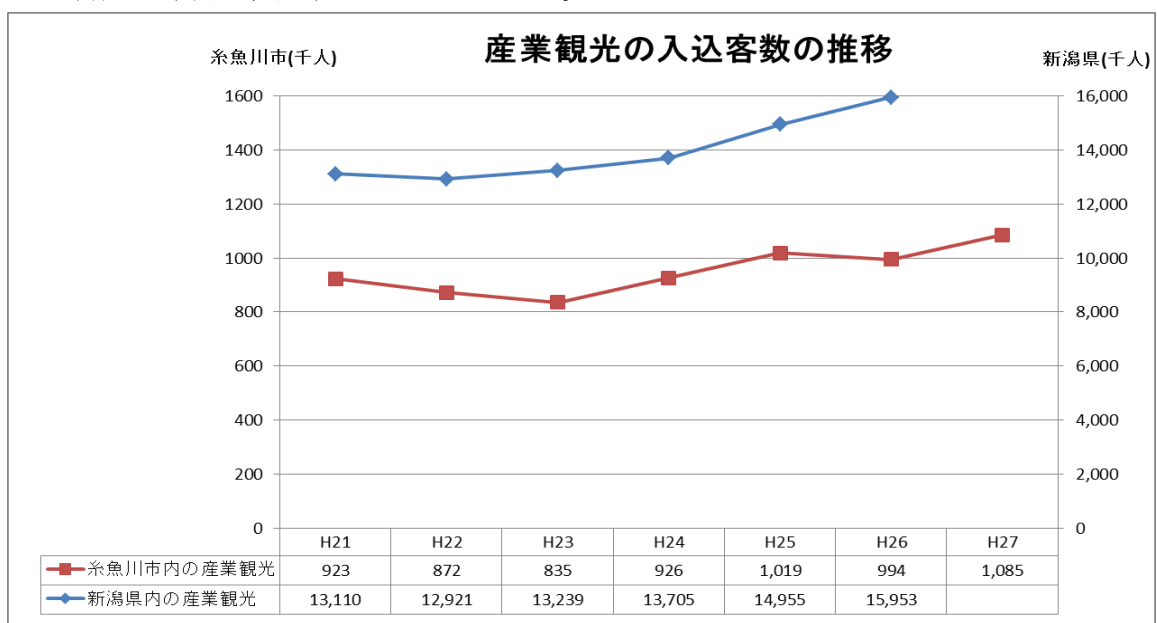
(3) 文化施設

- 新潟県内の文化施設の入込は平成 22 年度から低調だが、糸魚川市内の入込者数は増加している。
- 平成 27 年度は、前年度のフォッサマグナミュージアムのリニューアルオープン及びジオパルの開業により前年比 262.3%の大幅な増加となった。



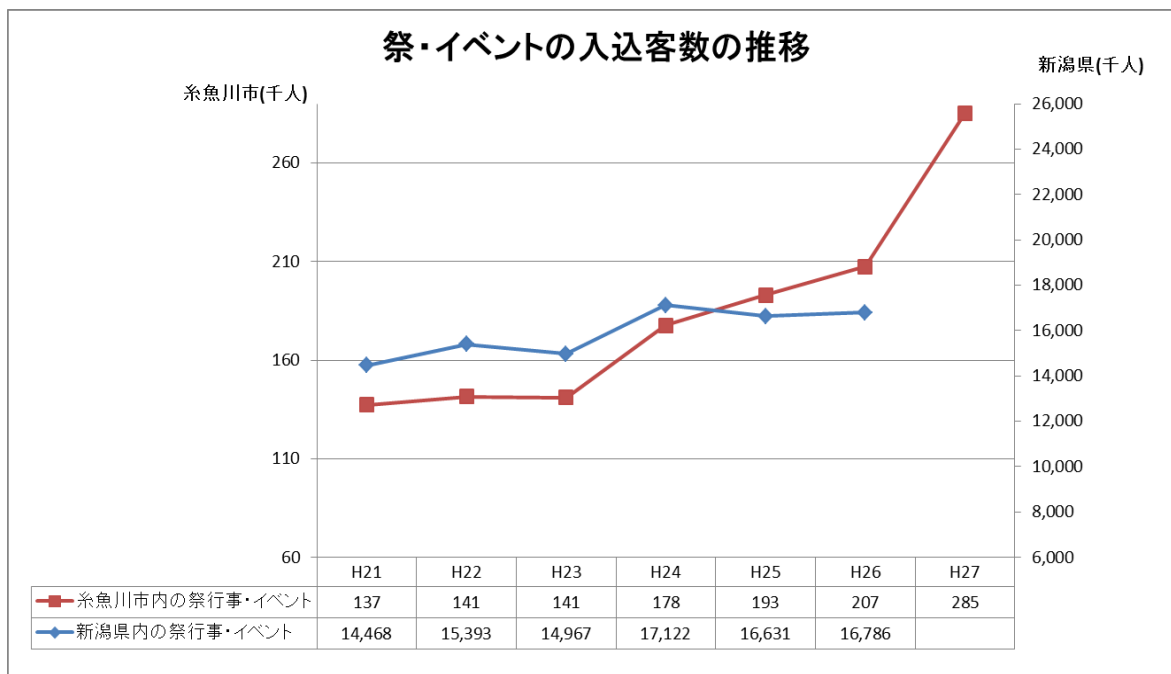
(4) 産業観光

- 糸魚川市内の産業観光の入込者数は、新潟県の入込傾向と同様の傾向を示す。
- 平成 27 年度は、前年比 109.1%となった。



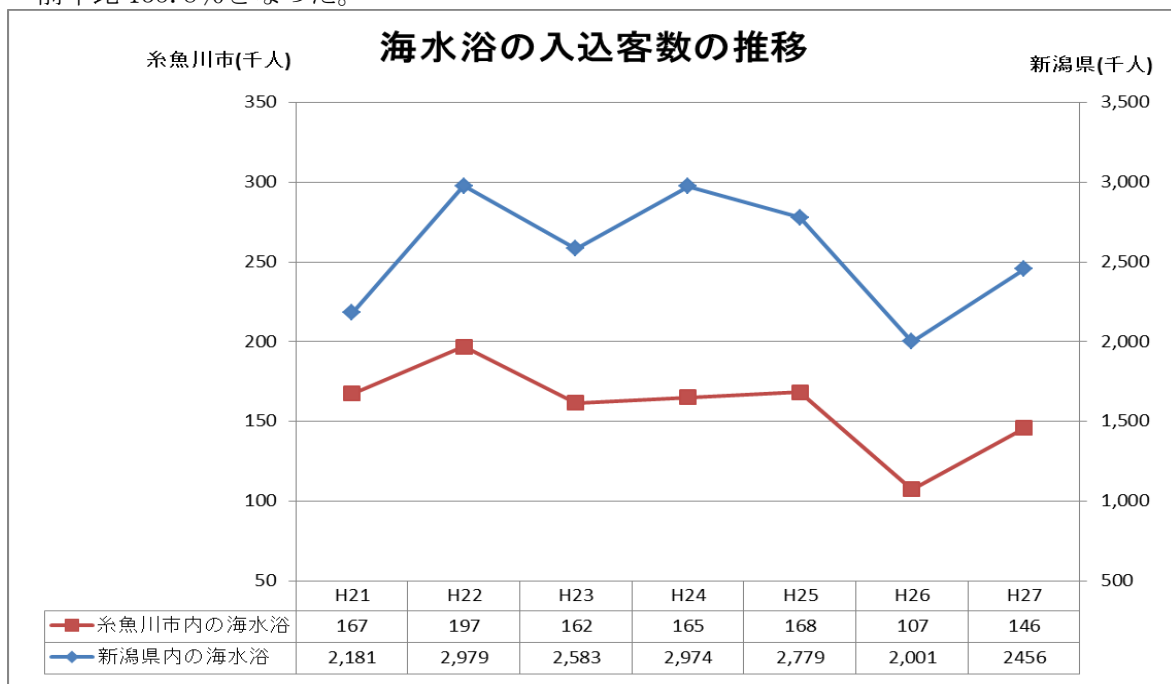
(5) 祭・イベント

- 新潟県内の祭・イベントの入込客数は、増加傾向にあり、糸魚川市の祭り・イベントの入込者数については平成 24 年度以降、年々増加している。
- 平成 27 年度は、食のイベントの効果もあり前年比 137.6%となった。



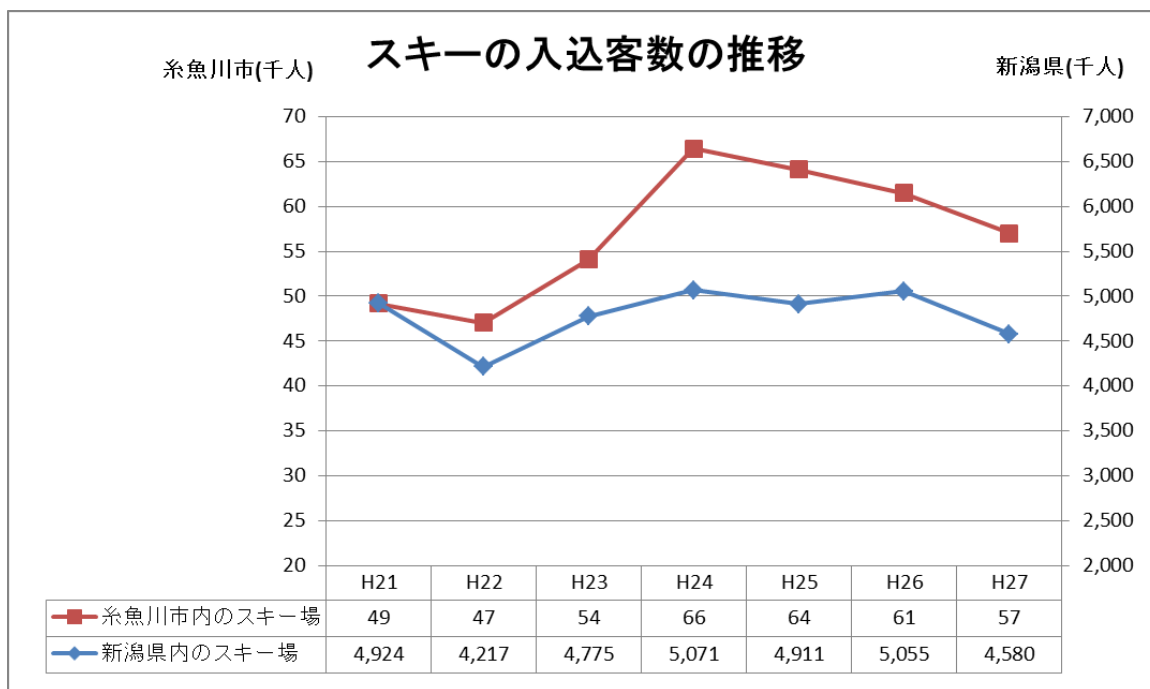
(6) 海水浴

- 新潟県内の海水浴の入込客数と、糸魚川市内の入込客数は同様の傾向を示す。
- 平成 27 年度は、天候にも恵まれた日が多く、特に 8 月上旬気温が高い日が続いたため、前年比 135.8%となった。



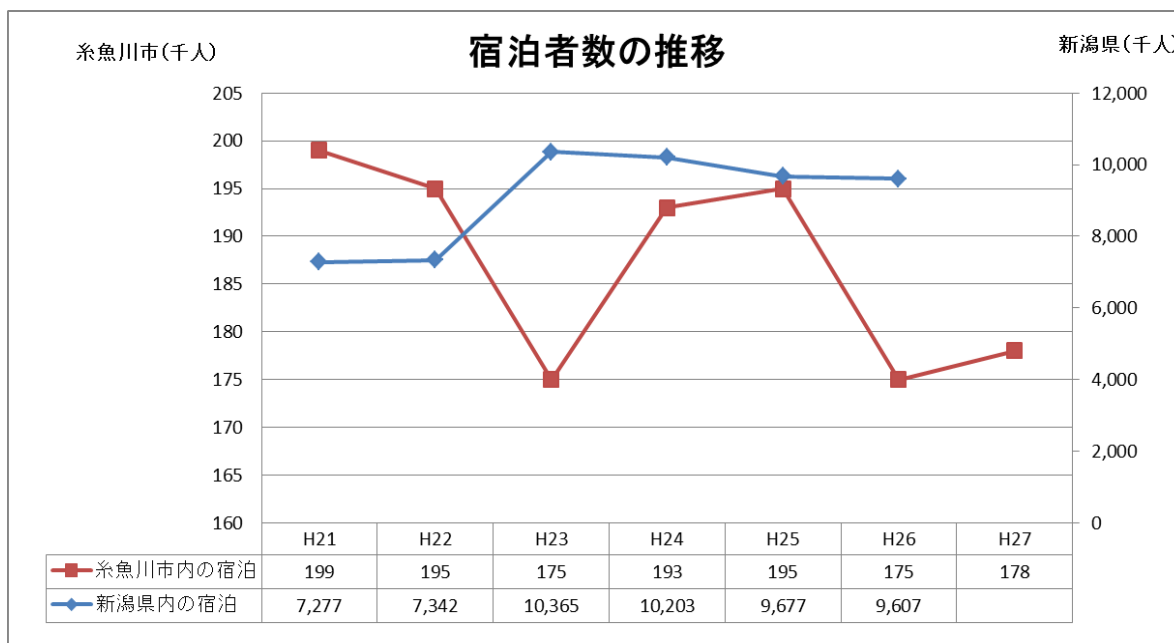
(7) スキー場

- 新潟県内のスキー場の入込客数と糸魚川市内の入込客数は同様の傾向を示す。
- 平成 27 年度は、少雪により営業日数が少なかったことが影響し、前年比 93.0%となった。



3 宿泊者数の推移と県入込客数との比較

- 新潟県内の宿泊者数は増加傾向にあるが、糸魚川市内の宿泊者数は減少傾向にある。
- 平成 27 年度は前年比 102%となった。



IV 経済効果

観光による経済効果を観光庁が平成23年3月に公表したMICE（Meeting, Incentive, Convention, Event / Exhibition）を用いて試算した。

1 平成27年度の観光における経済効果

平成27年度の観光における経済効果を、MICE測定モデルを用いて試算した。

- 直接効果は208億円、間接1次波及効果が163億円、間接2次波及効果が94億円、経済波及効果は465億円と試算される。

指標	金額	単位
1. 直接効果	208	億円
2. 間接1次波及効果	163	億円
3. 間接2次波及効果	94	億円
経済波及効果(1+2+3)	465	億円

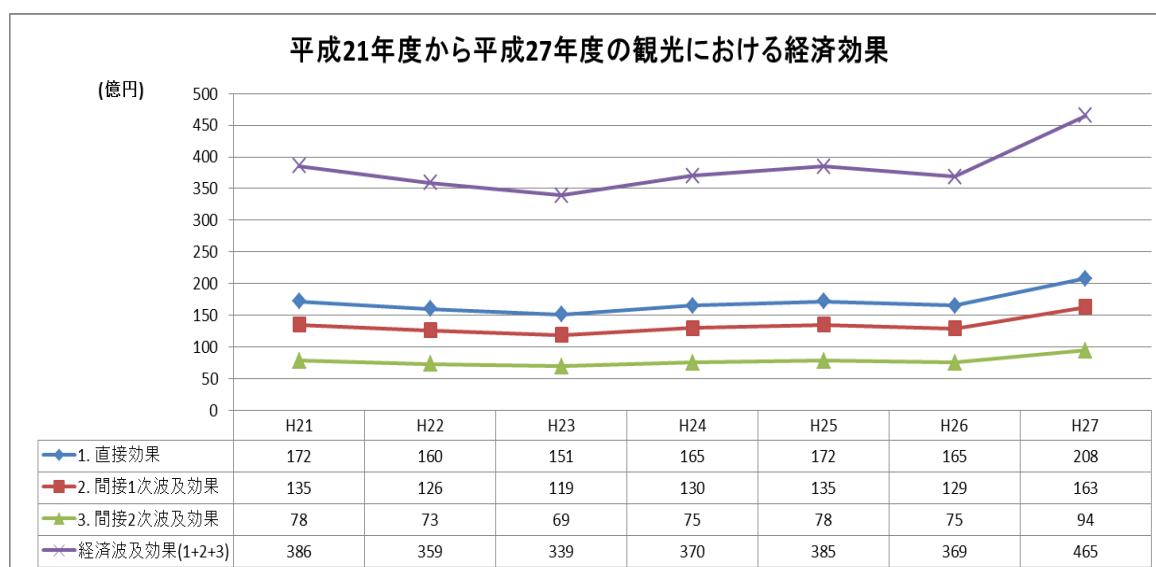
2 過去の観光における経済効果

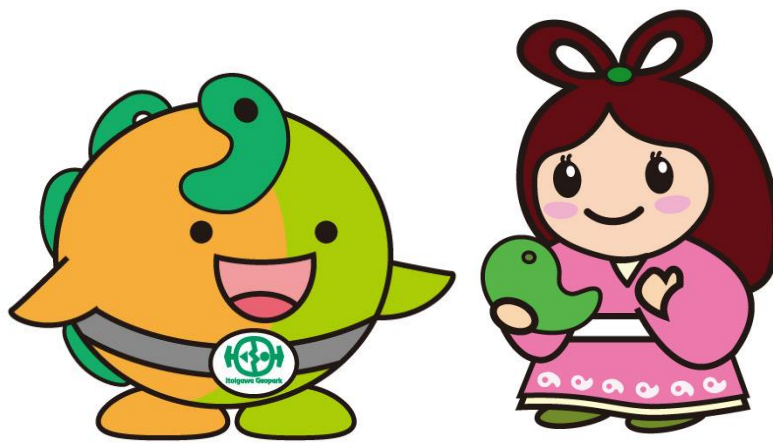
平成21年度から過去7年間の観光における経済効果を試算した。

- 平成27年度は北陸新幹線糸魚川駅が開業したこともあり、前年比126%となった。

(億円)

指標	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1.直接効果	172	160	151	165	172	165	208
2.間接1次波及効果	135	126	119	130	135	129	163
3.間接2次波及効果	78	73	69	75	78	75	94
経済波及効果(1+2+3)	386	359	339	370	385	369	465





ジオまる

ぬーな

糸魚川ユネスコ世界ジオパーク マスコットキャラクター

糸魚川市の観光の状況について（平成 27 年度版）
（平成 28 年 6 月発行）

編集・発行 糸魚川市産業部交流観光課
〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮 1 丁目 2 番 5 号
TEL 025-552-1511 FAX 025-552-7372